

小麦品種「ニシノカオリ」の特性

農業総合研究所

要 旨

平成15年に奨励品種に採用した「ニシノカオリ」は、蛋白質含量が多くパン用途への利用適性が高く、国産小麦の需要拡大が見込める。「農林61号」に比べて、早熟で耐倒伏性が強い。

成果の概要

外観品質は良好。蛋白質含量が多く、パン用に適する。

「農林61号」に比べて、出穂・成熟期が2～3日早く、稈長はやや短く耐倒伏性が強い。

「農林61号」に比べて、千粒重は約2g重い、穂数はやや少なく、短穂で、収量は約10%下回る。

栽培に当たっての留意事項

- (1) 播性が「農林61号」の に対して で茎立ちが早いため、適期播種に努める。
- (2) 収量安定化のためには穂数確保が重要であり、圃場の排水等に留意し施肥効率を高める。
- (3) 穂発芽耐性がやや弱いため、適期収穫に努める。
- (4) 赤かび病に対する抵抗性は「農林61号」と同程度であり、適期防除に努める。

ニシノカオリの品種特性

	ニシノカオリ	農林61号(標準)
出穂期 (月・日)	4 . 1 9	4 . 2 2
成熟期 (月・日)	6 . 4	6 . 7
稈長 (cm)	9 6	1 0 0
穂長 (cm)	7 . 3	8 . 1
穂数 (本/m ²)	5 0 0	5 3 3
秋まき性程度		
耐倒伏性	強	中
穂発芽抵抗性	中	難
赤かび病抵抗性	中	中
うどんこ病抵抗性	強	中
収量 (kg/a)	4 0 . 6	4 4 . 8
千粒重 (g)	4 0 . 1	3 8 . 2
蛋白質含量 (%)	9 . 5	8 . 2
品質	上の中	上の下
試験年度	平成11年度～平成14年度(播種年) (但し出穂・成熟期は平成12～14年度の平均値)	